

第1回 総合計画審議会議事録

- 日 時 平成18年2月6日 午後1時30分～
- 会 場 南魚沼市役所 301号会議室
- 出席者 委員：中沢委員、今井委員、佐藤委員、井上委員、関委員、塩谷委員、峠委員
宮下委員、羽賀委員、南雲委員、黒井委員、上村委員
(欠席) 腰越委員、鈴木委員、高野委員
NPOぐんま：熊倉理事
市：市長、助役、企画情報課長、事務局(山田、羽吹、米山)

1. 開会 企画情報課長
2. 市長あいさつ 井口市長
3. 委員の紹介
4. 会長・副会長の選出 ……会長：宮下 茂 副会長：上村久太郎
5. 議事
 - 1) 第1次総合計画素案策定の経過説明
【山田補佐】
 - 2) 第1次総合計画基本構想の素案説明
【NPOぐんま：熊倉理事】

《質 疑》(□質問・意見、■答弁)

□今井委員

- ・財政が非常に厳しい中で歳入を増やすにはどうしたらいいか。民間企業の活力を上げることを重点的に取り組むといったことが重要になるのではないかと考えている。産業構造を見ると全国的に1次産業が減って、3次産業が増えているという状況にある。南魚沼市の状況は全国と比較したときに何か特長的なところはあるか。この地域にはコシヒカリがあり、この農業を利用しない手はないと考えている。

■NPOぐんま

- ・大きな流れは、全国と同じような傾向を示していると思う。しかし、本市は人口構成比以上に生産額構成比で1次産業の比率が高くなっている。今までわが国は工業中心に進んできて、大都市周辺に人口集中が進み経済発展してきた。しかし、自給率の問題などから、農業を見直すことが大きな流れとしてある。この地域が、新規就農者を含めて、どれだけ産業として確立していけるかとなる。全国的に農業は生業になっても中々産業になれなかった。農業をいかに産業にしていくかが問題だ。
- ・新規就農者を外部から受け入れることも重要である。南紀勝浦では30年で100世帯の就農者がいる。関西圏で有機農業の取り組みで成功している。

□佐藤委員

- ・総合計画の組み立ては、基本構想－基本計画－実施計画の3段階である。今回、基本構想の流れを見ると、課題があり、それに対して将来像を描き、4つの基本理念の元に6つの目標を立てた。それを実現するため施策を展開することになる。この10年間、目標に対してどのように取り組むのか、ただ数字をだせということでないが何かわかりやすい達成状況を計るものが必要でないか。そうでないと、後で評価することが難しいのではないか。
- ・厳しい財政状況であることはわかるし、その中で計画策定しているわけだから、この計画策定

の背景に、財政健全化計画があることも入れたほうがよいのではないか。

- ・ P 6 の計画の背景で関東と北陸をつなぐ経路として、重要な役割を担っているとある。これは間違いなことだと思うが、今後北陸新幹線の開業となったとき、非常に厳しい状況もあるといったことに触れなくてよいのかと感じた。

■ N P O ぐんま

- ・ 北陸新幹線の問題については、まだ確定していない要素が多いので、特に問題として触れていない。工事の進行状況がかなり遅れているとの情報もあるし、車輛基地の問題で湯沢・浦佐までは、本数は減らないといった情報もある。ほくほく線は3セで厳しい状況にあるが、将来的にも迂回路として存続していこうと考えている。
- ・ 健全化については、明確に示すかどうか議論したところである。通常の実施計画ではあまり表現していないが、健全化計画をつくってあるのでこれを示すことも必要ではないかといった意見もあった。これについては、どのように扱ったらよいか、皆さんから議論してもらいたいところである。
- ・ 行政評価の部分になるが、目標値の設定については2つの考えがある。1つは事業や施策の束に対し、目標としての数値を設定しそれが達成できたかどうかを評価する方法で、多くの市ではこの方法を取っている。しかし、達成できたからといって、組織として行財政改革が進んだのか成果があったのか中々見えにくい。もう1つの方法として、通常の行政業務を普通に測定しながら経年変化を見ていき、サービスの最善や事務事業に結果としてどうだったかを見る方法がある。どちらにするかはまだ結論が出ていない。するとしても実施計画の段階で検討することになり、1年ごとに見ていくことになるのではないかと考える。
- ・ 行政業務のモノサシづくりを始めていて、現在40の都市が参加していて、本市はスタート段階から参加してもらっている。これを利用した中で行政評価を考えていきたい。

□ 佐藤委員

- ・ 厳しい状況にあることがわかるように、健全化計画を入れたほうがよいのではないかと考える。目標値についての考え方は、市民が理解した中で、目標値設定を考えていくべきでないか。5年後10年後どうなっていくかを示すことも大切でないか。単年度の成果も必要であるが、5年先この目標値を達成するため単年ごとの事業を実施するのだといった、わかりやすい形がいいのではないかと考える。

■ 市長

- ・ 5年10年の姿に対し数字で目標を定めることは、中々できないと思う。選挙がある中で非常に難しい。首長が変わると構想までは変わらなくても、具体的な計画については変わることがある。精々任期程度の期間にしないと難しいと思う。

■ N P O ぐんま

- ・ 1年毎というのは1年で終わるのでなく、経年変化を見ていくことになる。例えばゴミの量など、毎年決まった基準で全国的に測定している項目であるので、この経年変化から、全国との比較や対策などについて検討することができる。1年1年測定し、取組んだ成果を示すことが、市民にもわかりやすいのではと思う。

□ 中沢委員

- ・ ここに住むことに魅力を感じ、活力がでてくるような計画を前面に出していきたいと考えている。希望が沸いてくるものを示してもらいたい。

■ N P O ぐんま

- ・ 最終的に概要版をつくることになると思うが、そこでは明るいイメージで市民参加を感じさせる内容を示していきたい。

□井上委員

- ・人口推計を見ると、人口減少が進み将来が心配になる数値である。人口問題は全ての計画に影響がある。何か対策はないか。

■市長

- ・医療体系を充実した中で、退職者が最後の住処として定住を考えるような地域を考えてもよいと思う。短期的にはそういう対策もある。
- ・子どもを増やすことは、長期的な取り組みになるが施策的には進めていかなければならない。
- ・子育て支援についてはH18から具体的に進めていく。

□峠委員

- ・観光を考えたとき、今年の大雪による交通マヒは大きい問題だった。この地域は雪が降ることはあたりまえのことであるので、安心して住むことができるまちを考えてもらいたい。

■NPOぐんま

- ・情報をしっかり発信することも必要で、全てこの地域は孤立したかのように伝えられている。東京で伝えられている内容と実際は違っていることを伝えることが、観光にも重要であると思う。

■市長

- ・今回の大雪災害について、自衛隊の派遣要請の問題があった。派遣要請すると、観光への風評被害の影響が考えられ、何とか自分たちだけで対応することで乗り切った。道路、特に高速や17号などの幹線は、絶対止めないように国に要望していきたい。それと、迂回路的な道路整備についても重要と考えるので要望していきたい。

□関委員

- ・P15・16でまちづくりの課題を示しているが、その内容と施策の大綱のつながりがわかり難い。市民には課題に対する施策を示すことがわかりやすいと思うが、順番が違っているのではないか。
- ・南魚沼市は何をしたいのかをもっとはっきり示したほうがよいのではないか。この部門ではこれに力を入れるのだといったように表現するともっとわかりやすいのではないか。

■NPOぐんま

- ・課題と施策の大綱をどうゆう形で配置したらよいかについては何度か議論があった。大綱の中では市民に関係する部分を優先させたので、課題と順序が違ってきている。基本計画の中に考えられる施策を掲載しておかないと、国県の補助事業への対応などに影響がある。それらを配慮した掲載となっている。
- ・概要版の中では、メリハリを持たせた表現にしていきたい。
- ・課題と施策の大綱の関係については、少し検討させていただきたい。

⇒指摘のとおり「まちづくりの課題」の順番を変更

□羽賀委員

- ・改めてふるさとの姿を見ることができた。販売経路の拡充という項目があったが、首都圏に近いメリットを活かして、何か施策が必要でないか。加えてサービスの質を上げていてもらいたい。実家が無くても帰ってみたいふるさととなって欲しい。
- ・農業の振興に生産・開発・流通といった言葉がでていますが、非常に重要と考えるので、もっと強調されればと考える。産業の連携についても何か具体的な施策が示されればよいと感じた。

□塩谷委員

- ・基本構想の目的は、新市ができて夢あるものでなければならない。もっと特徴があるものであ

ってもよいのでないか。これからは地域の競争が始まるわけで、住みやすい環境のところに人が集まってくる。

- ・医療の点では、地域の県立病院で地域の医療レベルが低くて、不信を感じています。施設でなく、来てくれる医師のやる気によると思う。今後、基幹病院の計画が示されると思うが、地域全体の医療体制について、全体の構想を示してもらいたい。
- ・新市のスタートなので、市長中心にしっかりした方針を示してもらいたい。社会状況を見ながら見直しはあっていいが、方針をしっかりすることは必要と思う。

■市長

- ・基本構想では総花的な表現になっているが、基本計画の中で、夢ある具体的な計画を示していくことになる。
- ・市の長を、基本計画・実施計画の中で示していきたい。

□南雲委員

- ・ふるさとのことを考えると、ふるさとに還元できることは中々できなかった。例えば東京方面に産業PRなどに来たとき、東京在住の会員が手伝いをするのができないかと考えている。
- ・市民が計画を見たとき、将来の姿が想像できるような計画になればよいのではないか。

□塩谷委員

- ・まちづくりの課題に災害に対する文言を増やしてもらえないかと思う。中越地震以降、大雪災害と続いているが、この対策について示したほうがよいのではないか。

■市長

- ・P25の都市基盤の中で示している。

《事務局報告》

- ・次回は基本構想(案)を諮問しますので、答申について協議願いたい。(2/20開催予定)
- ・議事録の公開についての考えは⇒発言者氏名を付して公開することで了解

(終了 午後3時15分)